

## II. 新町の地域概況



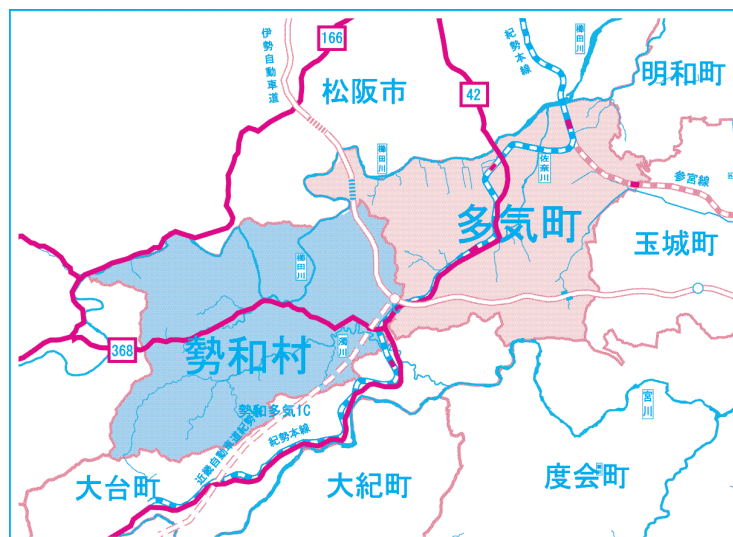
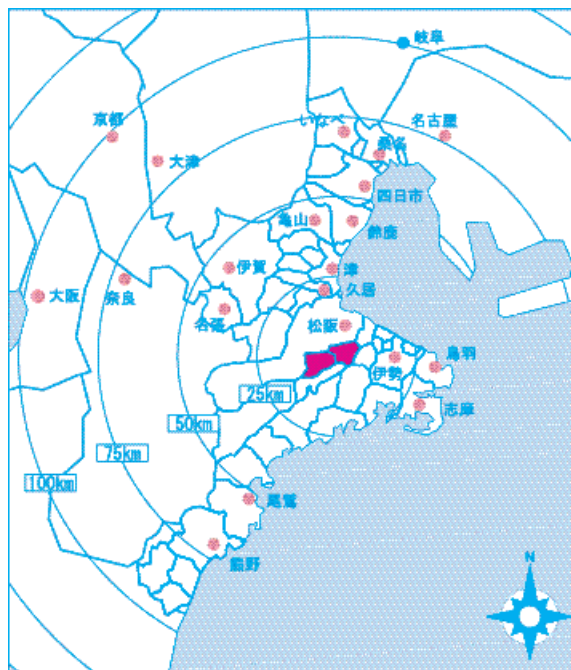
### 1. 位置と地勢

多気町、勢和村の2町村により構成される新町は、三重県のほぼ中央、伊勢平野の南端部に位置し、松阪市と伊勢市の間にあります。名古屋市からは直線距離で約75km、津市からは約25kmとなっています。

新町の東部は伊勢平野の一端をなし、北部を流れる櫛田川、南部を流れる宮川の両岸には河岸段丘が形成されています。

西部と南部はスギ、ヒノキの植林を中心とした山地であり、山麓は比較的緩やかな傾斜地が広がっています。このように、変化に富んだ地形が、地域に大きな特徴を与えています。

〔新町の位置〕





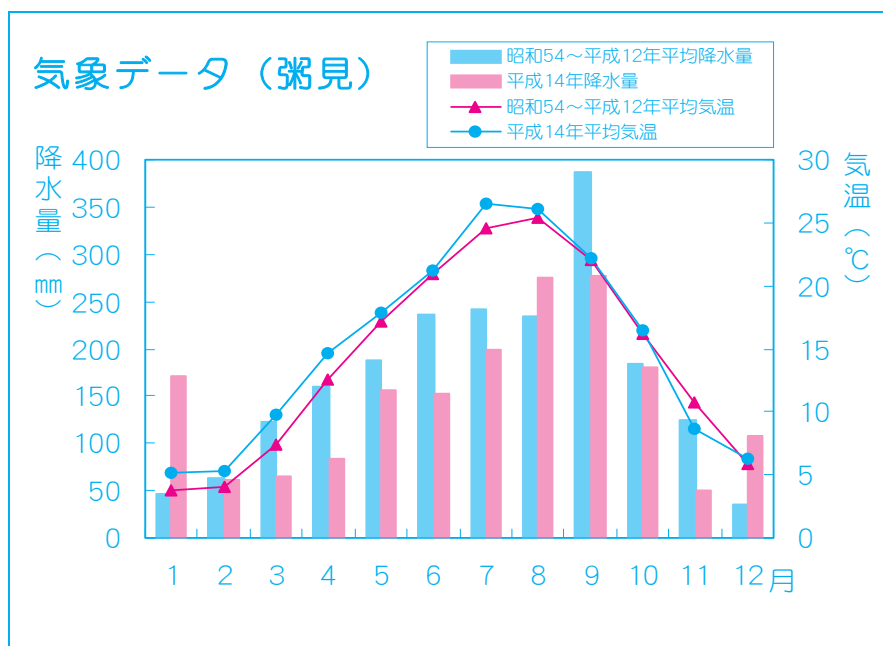
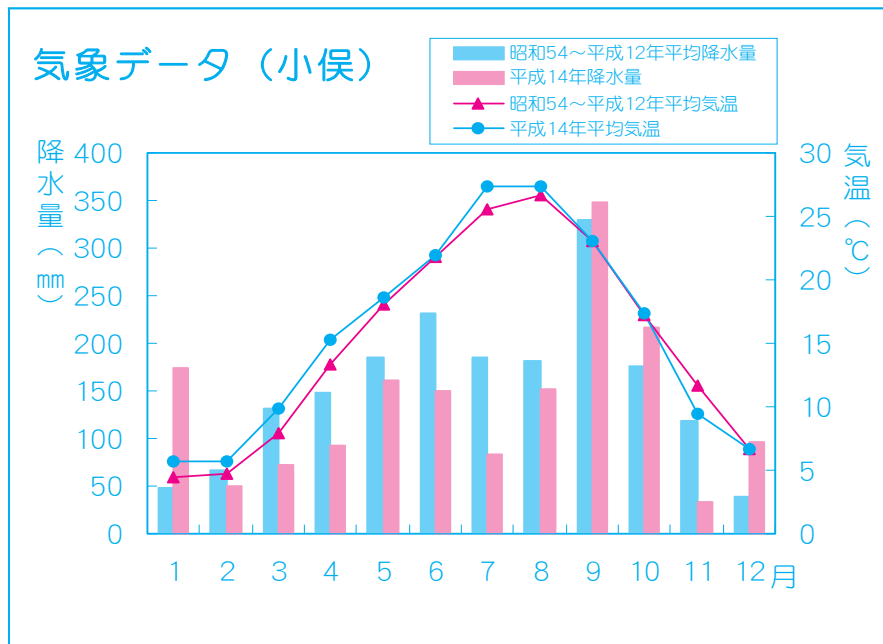
## 2. 気 候

気候は比較的温暖な南海型に属しています。

平成14年の平均気温は、圏域に近い小俣観測所で15.7℃、粥見観測所で15.0℃となっています。冬季には最低気温が氷点下になる日もみられます。

過去の年間平均降水量は約1,800mm前後で、最も降雨が多いのは9月です。平成14年は冬季に高い降水量を記録していますが、例年積雪量はそれほど多くありません。風は年間を通して西寄りです。平均風速は1.5m/s前後です。

〔平均気温と降水量〕



資料：平成16年 三重県統計書



## 3. 沿革と地誌

### 多気町

---

昭和30年、相可町、佐奈村、津田村が合併して、「多気町」が誕生しました。その後、昭和34年に西外城田村を編入して現在の「多気町」となりました。

町の西側から南側は、山地を越えて勢和村、大台町、度会町と接し、北側から東側は、松阪市、明和町、玉城町へ平野が続いています。また、南部には、勢和村朝柄から五桂池付近にかけて東西に中央構造線が走っており、山地の形態にその影響がうかがえます。

平野部には水田が広がり、良質米を産しており、丘陵地帯では、みかん、かきが生産され、松阪牛や伊勢いも、鮎は特産品として知られています。また、近年はハイテク企業の進出により、産業の活性化が進んでいます。

### 勢和村

---

昭和30年、五ヶ谷村と丹生村が合併して「勢和村」が誕生しました。同じ年に隣の松阪市に合併していた茅広江村の上出江・下出江地区が分離し「勢和村」に編入され、現在に至っています。

村の東側は多気町と、北側は櫛田川を境に松阪市と接し、西側から南側は山地を介して松阪市（旧飯南町）、大台町と接しています。紀伊山系の連山に囲まれた比較的緩やかな山々が点在し、大台山系の高見峠に源を発する櫛田川が、村内北部から東に流れ伊勢湾に注いでいます。南部には宮川の支流である濁川が西から東に流れ本流と合流しています。

農林業が盛んで、良質の米やお茶が生産され、また、村域面積の70%を占める山林からは優良材が産出されています。

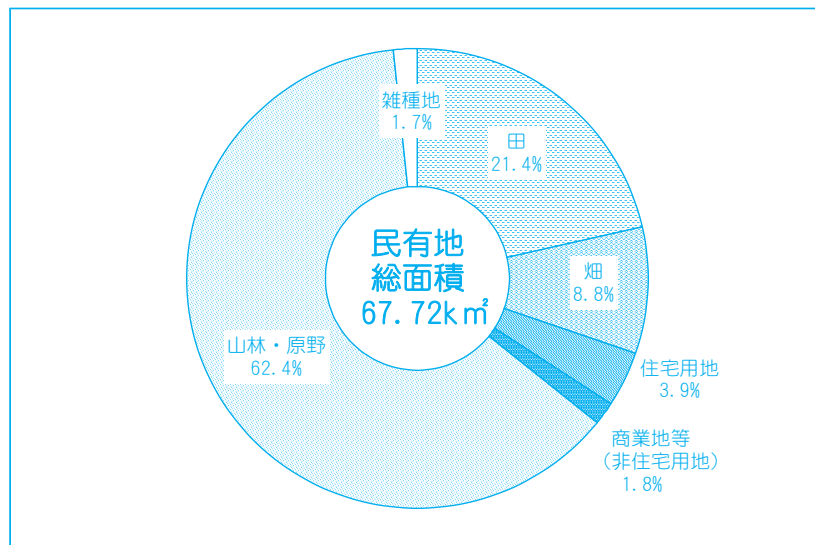


## 4. 面積

新町の総面積は103.17km<sup>2</sup>で、その60%近くを森林が占めています。

私有地の土地利用区分（2町村計）で見ると、最も広くを占めているのは山林・原野の42.28km<sup>2</sup>（62.4%）であり、続いて田・畑を合わせた20.45km<sup>2</sup>（30.2%）、住宅用地の2.62km<sup>2</sup>（3.9%）、商業地等（非住宅用地）の1.23km<sup>2</sup>（1.8%）となっています。

〔地目別面積の割合〕



### ■土地面積・地目別面積

(単位：km<sup>2</sup>)

区分	総面積 (平14.10.1)	私有地・地目別面積 (平成15年1月1日現在)							【参考】 森林面積
		総数	田	畑	宅地		山林原野	雑種地	
					住宅用地	商業地等 (非住宅用地)			
多気町	49.59	37.00	9.63	3.64	1.47	0.99	20.51	0.75	20.83
勢和村	53.58	30.72	4.84	2.34	1.14	0.24	21.77	0.39	38.76
新町	103.17	67.72	14.47	5.98	2.62	1.23	42.28	1.14	59.59
	—	100.0%	21.4%	8.8%	3.9%	1.8%	62.4%	1.7%	57.8%

資料：平成16年 三重県統計書

※私有地・地目別面積は評価総地積にもとづく面積

※新町の下段の数値は、森林面積については総面積に対する割合、それ以外の項目については私有地合計面積に対する割合

※表示数値未満を四捨五入しているため、2町村の合計値と新町の数値とが合わない場合がある。



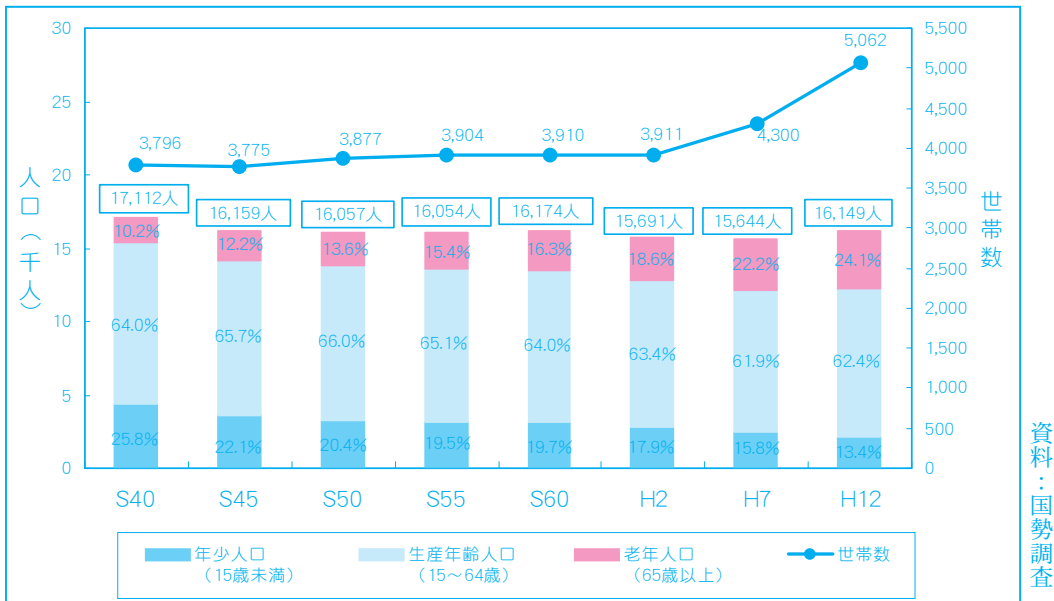
## 5. 人口

新町の人口は、平成12年国勢調査では16,149人となっています。人口動態については昭和40年以降減少傾向にありましたが、昭和55年から昭和60年にかけてわずかに増加し、平成2年、平成7年に再び減少した後わずかながら増加傾向にあります。昭和40年から平成12年まで全体的には、ほぼ横ばいの状況です。

年齢別人口割合<sup>\*</sup>については、平成12年では、年少人口が13.4%、生産年齢人口が62.4%、老年人口が24.1%であり、三重県全体（年少人口：15.2%、生産年齢人口：65.8%、老年人口18.9%）と比較して、年少人口と生産年齢人口の割合は低く、老年人口の割合は高い構成になっています。平成2年と比較して、年少人口が4.5<sup>割</sup>減少する一方、老年人口が5.5<sup>割</sup>増加しており、急速な少子高齢化が進んでいます。

また、平成12年における世帯数は5,062世帯であり、一世帯あたりの平均世帯人員は3.19人で、三重県平均（2.92人）を上回っています。これは、この地域の特徴として多世帯同居型の居住環境があることを示していますが、平成2年までは平均世帯人員が4人以上であったのに比べると、平成7年以降は、核家族化だけでなく企業進出による単身世帯の増加が顕著であることがうかがえます。

〔総人口・世帯数の推移〕



■人口と世帯数の推移

(単位：人・世帯)

		昭和40	昭和45	昭和50	昭和55	昭和60	平成2	平成7	平成12
多気町	総人口	10,987	10,406	10,402	10,420	10,431	10,106	10,226	10,868
	世帯数	2,360	2,360	2,469	2,488	2,476	2,475	2,845	3,565
勢和村	総人口	6,125	5,753	5,655	5,634	5,743	5,585	5,418	5,281
	世帯数	1,436	1,415	1,408	1,416	1,434	1,436	1,455	1,497
2町村の合計	総人口	17,112	16,159	16,057	16,054	16,174	15,691	15,644	16,149
	年少人口	25.8%	22.1%	20.4%	19.5%	19.7%	17.9%	15.8%	13.4%
	生産年齢人口	64.0%	65.7%	66.0%	65.1%	64.0%	63.4%	61.9%	62.4%
	老年人口	10.2%	12.2%	13.6%	15.4%	16.3%	18.6%	22.2%	24.1%
	世帯数	3,796	3,775	3,877	3,904	3,910	3,911	4,300	5,062

資料：国勢調査

※表示数値未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。



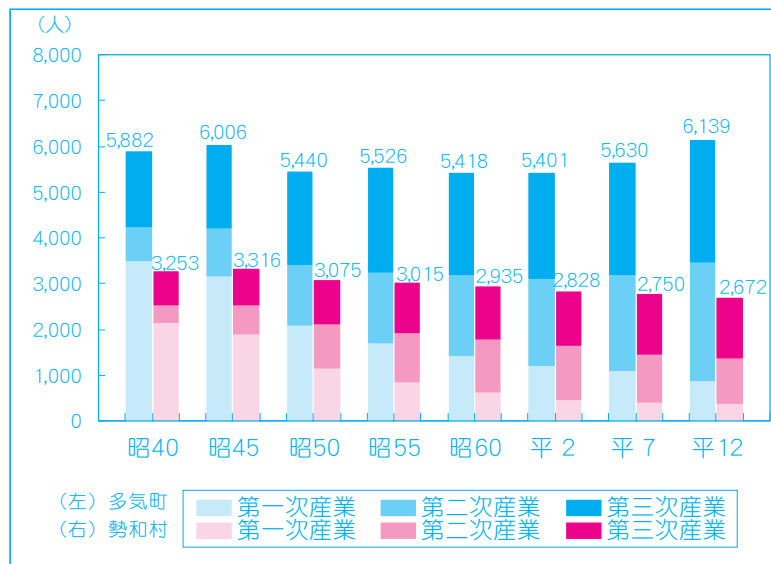
## 6. 産 業

新町の産業構造\*は、多気町・勢和村で働く就業人口で見ると、第1次産業が14.5%、第2次産業が54.1%、第3次産業が31.1%となっており、それぞれ三重県平均（第1次産業：5.4%、第2次産業：36.7%、第3次産業：57.4%）と比較して、第1次、第2次産業の従業者数の占める割合が高くなっています。

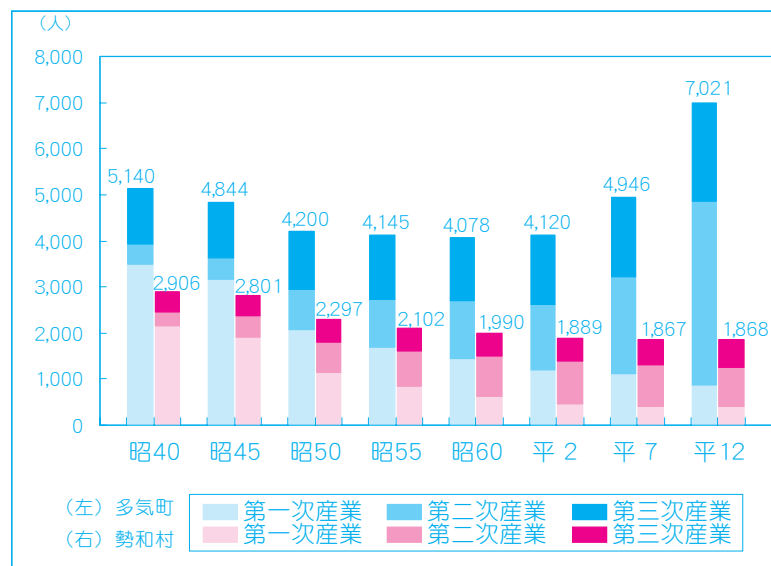
昭和40年以降の従業者別の推移をみると、第1次産業は年々減少、第2次産業は年々増加の傾向にあります。第3次産業については、昭和50年以降はほぼ横ばいです。

平成7年までは、多気町、勢和村ともに、町村外への通勤者が多いことがうかがえます。一方、平成12年の多気町においては、企業進出にともない、周辺市町村から多気町への通勤者が増加したことがうかがえます。

〔多気町・勢和村に住む産業別就業人口の推移〕



〔多気町・勢和村で働く産業別就業人口の推移〕



資料：国勢調査

※合計が100%にならないのは、産業分類別の割合には分類不能の産業を含まないためである。